

休業期間 3 日目

アーカイブ

修学旅行編

日光 修学旅行

『プラス1~96人できずなを深めて
最高の思い出にしよう』



6年組番(名前)



くわくわく

八八の誕生日でやがてはじました。
達へなりてらへけますので、
日走当日はおまじめ盛り上げて、
みんなを喜びあがめられるよ。
日走でもうよくお運びます。

おめで

クラス、クラスに校長先生にモチアリ
キラッたいと思、る所のでようく西野
トヨ子、後日つうきめてい行けよし



〈校長先生へ〉

バスや電車の中でみんなといっしょに
遊んだりするのが楽しいのです。

日光当日はお楽しみ盛り上げばなのに
みんなを盛りあがられるようこれからより元気です
日光でもよろしくお願ひします。

お願

クラスレクのときに校長先生にも参加して
もらいたいと思ってるのでよろしくお願
します。後日うち合わせに行きます。

プラス1

~96人できずなを深めて
最高の思い出にしよう



三猿

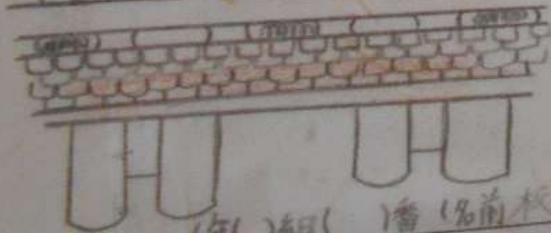
日光・片品
修学旅行

日光東照宮

く聞かさる くさわさる く見さる



木刀



6年()組()番(名前)板井先生



第7回
アフリカ開拓
2013年1月開拓者会議
アフリカに生きる
アフリカに生きるに生きる

片品・日光修学旅行 「プラス1」

～96人でできるきずなを深めて
最高の思い出にしよう～



片品・日光修学旅行列車

車内放送

第一日目

(豊田小学校校長から)



おはようございます

お元気ですか？

昨日は、しっかりと眠れたでしょうか。

いよいよ楽しみな
二泊三日の

片品・日光修学旅行がスタートしました。

E257系5両編成の
私たちの特別列車は、

戸塚駅を出発し、
横浜駅で途中停車した後、

これから
群馬県沼田駅に向かっていきます。

沼田市は、
日本百名山に挙げられる
赤城山や武尊山などの山々に囲まれた
緑豊かなまち。

真田氏ゆかりの沼田城の城下町として
歴史の息吹が
感じられるまちです。

そこから、

バスで向かう
片品村で

二日間を過ごすこととなりますね。

群馬県北端部に位置する
片品村は、
高山植物と湿原で
全国的に名高い
尾瀬国立公園をはじめ、

武尊山などの日本の名山が、
織りなす
とても美しい
自然に恵まれたところです。

そこには、
「片品時間」と
呼んでもいいぐらいの

とても

ゆったりとした時間が
流れていることでしょう。

そして

最終日には

世界遺産に登録された
日光社寺巡りですね。

この修学旅行で

みなさん！

最高の思い出を築きましょう！

二度と
やってこない小学生時代

一生

忘れることのできない

輝かしい

修学旅行にしていきましょう！

「5分前行動」

「先生、5分前です。
『お弁当の時間』にして
いいですか。」（笑）

「うまい！座布団一枚」



車中レク 「私の先生」



車中レク「私の先生」





車中レク



群馬県沼田駅行き



SERIES E257

JR



群馬県沼田駅行き

沼田八景

昭和二十六年十月販売

群馬県沼田駅



群馬県沼田駅



A photograph showing a group of children in school uniforms walking up a set of stairs. The child in the foreground is wearing a white cap, a yellow shirt, and a blue backpack. The text "群馬県沼田駅" is overlaid in large yellow characters.

群馬県沼田駅

迦葉山
Mt. Kashiho-yama



武尊牧場



武尊牧場



武尊牧場



武尊牧場



片品村







武尊牧場



















ブナの原生林





ブナの原生林 聴診器体験



ブナの原生林 聴診器体験





片品村での 夕食時間

片品日光宿泊体験學習



夕食時間

片品村



片品村の朝



片品村

花咲石

所在地 片品村大字片品

昔日本武尊むごん命が葦原國の征服に來ての帰り、この辺りの種たね「花咲」ともいふと舊きになりまし。険しい岩山いわやにこもって手をやいた命は、難ひじのとりでを回んで火を放ちました。眞まことに長ながは、これで自分の命は残りだが、妻めぐみたちの命だけは助けたいと思おもい抜け穴ぬけあなから逃のがしました。ところが出口でぐちにも火がまわり助けることができませんでした。するとどうでしょう、やけどを負うけつた長ながの奥方おくがたの体は、みるとうちに大きな石いしとなっていました。一夜明けて村人たちが見ると、石の表おもてには一面まいにうす塗ぬりの花びらの模様もようがまるで今しがた咲さくいたかのようになります。ありませんか。ところがどうした跡あとか。疫病えきびょうがはやり多くの人々が、病病に苦しめられました。疫病えきびょうは、誰だれも治のりません。丹花石たんかいし神かみとして崇たまつた所ところ、村に平和へいわです。それでこの石を花咲石はな咲いしといつて、村大字花咲はな咲といふようになりましたとの事で、

平成十二年

片品村



片品村

A large, shiny yellow metal pot with a matching lid and black handles is positioned on a low stack of large, flat grey stones. The stones are arranged in a simple, circular pattern. The background shows a natural outdoor setting with more rocks, some green plants, and sunlight filtering through trees.

片品村

片品村



片品村



片品村



片品村



片品村



片品村











日光の大自然にふれて







日光の大自然にふれて



21世紀を生き抜く

そして、

22世紀にまで

手が届く 君たちへ

「心からのエール」